特別企画：第7回 宮城県内企業のメインバンク実態調査

七十七銀行がトップ、5割超の圧倒的シェア ～地元金融機関が強く、メガバンクやや後退～

はじめに

今年4月、東京TYフィナンシャルグループ（東京都民銀行・八千代銀行）が新銀行東京をグループに迎え、将来的な合併に向けた新体制を発足させた。一方、地方では2月、長崎県に基盤を持つ十八銀行とふくおかフィナンシャルグループ（福岡銀行・熊本銀行・親和銀行）が2017年4月をメドとする経営統合を発表、昨年10月に誕生した九州フィナンシャルグループ（肥後銀行・鹿児島銀行）に続き、九州エリアでの地銀再編も加速している。今後、東北でも進むとみられる再編の動きは、各金融機関と地元中小企業との関係性に変化を生じさせる可能性もあり、なかでもメインバンクの果たす役割にこれまで以上に注目が集まっている。

帝国データバンク仙台支店では、2016年10月末時点の企業概要データベース COSMOS2（全国146万社）から、宮城県内の企業（約2万4500社）がメインバンクと認識している金融機関について抽出し集計した。なお、調査対象は全業種全法人で、個人経営も含む。本調査は2015年12月に次いで7回目。

※ 本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なる。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、当該企業が最上位として認識している金融機関のみを集計した。

調査結果（要旨）

1. 宮城県内の企業約2万4500社のうち、各企業がメインバンクとして認識している金融機関で最も多かったのは、**七十七銀行**（仙台市）の1万3683社で、シェア（構成比）は55.84%と前回調査のシェアを維持し、引き続き圧倒的な存在感を示している。
2. 上位7位までを地元金融機関が占め、**仙台銀行**（仙台市）、**杜の都信金**（仙台市）を含めた上位3位で7割強、上位7位で約8割を占め、地元金融機関の強さが目立つ。一方で、メガバンク3行（**三菱東京UFJ**・**三井住友**・**みずほ**）はともに僅かにシェアが減少した。
3. 主要業種別でも**七十七銀行**がすべて1位。上位3位はすべて**七十七銀行**、**仙台銀行**、**杜の都信金**の順。
4. 売上規模別でも**七十七銀行**がすべて1位。「50億円以上」は2位から4位までをメガバンクが占め、売上規模が大きくなるにつれて、メガバンクの存在感が増している。

1. 上位20行～地元の上位3行で74.79%を占める

宮城県内の企業がメインバンクと認識している上位20行は表1の通り。1位は、**七十七銀行**（仙台市）で、1万3683社、シェアにして55.84%を占めた。2位は、**仙台銀行**（仙台市）3095社、同12.63%、3位は、**杜の都信金**（仙台市）1548社、同6.32%となった。上位3行のシェア合計は74.79%となった。1位の**七十七銀行**が前回調査より僅かにシェアを0.06ポイント増加させ、2位以下を大きく引き離して5割を超えるシェアを維持した。

4位は、**仙南信金**（白石市）591社、同2.41%、5位は、**石巻商工信組**（石巻市）493社、同2.01%と続

き、上位7行までを地元金融機関が占め、9位までが前年と同じ順位だった。10位以内に入った県外に本店を置く金融機関は、盛岡市の**北日本銀行**（8位）、山形市の**きらやか銀行**（10位）となり、**きらやか銀行**は前年12位からトップテン入りを果たした。メガバンクは**三菱東京UFJ銀行**（12位）が最高で、**三井住友**（15位）、**みずほ**（16位）ともメガバンク3行は僅かにシェアが低下した。上位20行は前年と同じ顔ぶれとなり、シェアもほぼ横ばいという結果となった。

表1(上位20行)

順位	金融機関名	本店所在地	社数	シェア		
				シェア(%)	増減(pt)	
1	(1)	七十七	仙台市	13,683	55.84%	0.06
2	(2)	仙台	仙台市	3,095	12.63%	0.12
3	(3)	杜の都信金	仙台市	1,548	6.32%	▲0.02
4	(4)	仙南信金	白石市	591	2.41%	0.00
5	(5)	石巻商工信組	石巻市	493	2.01%	0.01
6	(6)	宮城第一信金	仙台市	435	1.78%	▲0.02
7	(7)	石巻信金	石巻市	434	1.77%	0.01
8	(8)	北日本	盛岡市	345	1.41%	0.01
9	(9)	気仙沼信金	気仙沼市	336	1.37%	0.01
10	(12)	きらやか	山形市	243	0.99%	0.04
11	(10)	東北	盛岡市	240	0.98%	▲0.03
12	(11)	三菱東京UFJ	東京都	232	0.95%	▲0.02
13	(15)	岩手	盛岡市	214	0.87%	0.02
14	(13)	古川信組	大崎市	212	0.87%	0.01
15	(15)	三井住友	東京都	205	0.84%	▲0.01
16	(14)	みずほ	東京都	203	0.83%	▲0.03
17	(17)	商工中金	東京都	190	0.78%	▲0.02
18	(18)	山形	山形市	173	0.71%	0.00
19	(19)	常陽	水戸市	142	0.58%	0.01
20	(20)	仙北信組	栗原市	137	0.56%	0.02

*順位()内は前年順位

*シェア増減は前回調査(昨年12月発表)との比較

2. 業種別～すべて上位3位まで七十七銀行、仙台銀行、杜の都信金の順

主要業種別の上位行は表2(3P)の通り。

業種別では、すべて1位が**七十七銀行**で、シェアは「運輸・通信業」の47.84%以外はすべて50%を超え、特に「不動産」・「サービス」は約6割のシェアを獲得するなど、2位以下を大きく引き離している。すべて上位3位までを**仙台銀行**、**杜の都信金**の順となり、地元3行の強さが目立っている。

表2(主要業種別上位行)

建設			
順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	七十七	4,026	55.74%
2	仙台	1,034	14.32%
3	杜の都信金	580	8.03%
4	仙南信金	243	3.36%
5	石巻商工信組	191	2.64%
6	石巻信金	177	2.45%
7	宮城第一信金	140	1.94%
8	気仙沼信金	113	1.56%
9	北日本	83	1.15%
10	東北	78	1.08%
	合計	7,223	

製造			
順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	七十七	1,064	54.99%
2	仙台	236	12.20%
3	杜の都信金	95	4.91%
4	仙南信金	49	2.53%
5	石巻商工信組	41	2.12%
6	北日本	40	2.07%
	商工中金	40	2.07%
8	宮城第一信金	36	1.86%
9	気仙沼信金	32	1.65%
10	東北	30	1.55%
	合計	1,935	

卸			
順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	七十七	1,488	57.52%
2	仙台	276	10.67%
3	杜の都信金	147	5.68%
4	北日本	60	2.32%
5	仙南信金	54	2.09%
6	石巻商工信組	50	1.93%
7	岩手	44	1.70%
8	気仙沼信金	39	1.51%
9	みずほ	38	1.47%
	石巻信金	38	1.47%
	合計	2,587	

小売			
順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	七十七	1,672	51.16%
2	仙台	498	15.24%
3	杜の都信金	246	7.53%
4	石巻商工信組	91	2.78%
5	仙南信金	86	2.63%
6	宮城第一信金	70	2.14%
7	気仙沼信金	65	1.99%
8	石巻信金	63	1.93%
9	北日本	53	1.62%
10	古川信組	41	1.25%
	合計	3,268	

不動産			
順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	七十七	1,029	59.58%
2	仙台	162	9.38%
3	杜の都信金	118	6.83%
4	宮城第一信金	40	2.32%
5	きらやか	27	1.56%
6	石巻信金	26	1.51%
7	三井住友	24	1.39%
	東北	24	1.39%
9	北日本	23	1.33%
10	仙南信金	21	1.22%
	合計	1,727	

運輸・通信			
順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	七十七	442	47.84%
2	仙台	146	15.80%
3	杜の都信金	51	5.52%
4	石巻商工信組	43	4.65%
5	商工中金	34	3.68%
6	石巻信金	26	2.81%
7	仙南信金	24	2.60%
8	古川信組	14	1.52%
9	みずほ	13	1.41%
	三井住友	13	1.41%
	宮城第一信金	13	1.41%
	合計	924	

サービス			
順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	七十七	3,691	59.13%
2	仙台	686	10.99%
3	杜の都信金	293	4.69%
4	仙南信金	103	1.65%
5	宮城第一信金	94	1.51%
6	三菱東京UFJ	74	1.19%
	北日本	74	1.19%
8	石巻信金	67	1.07%
9	みずほ	65	1.04%
10	古川信組	63	1.01%
	合計	6,242	

3. 売上規模別 ～10億円以上はメガバンクの存在感強まる

融資先の売上規模別の上位行は表3の通り。ここでも、**七十七銀行**が各売上規模で5割を超え、「10億円以上50億円未満」では6割を超えるなど、小規模から大規模まで幅広く融資先を有している。10億円以上になるとメガバンクの存在感が強まり、「50億円以上」は2位～4位をメガバンク3行が占め、県外の地銀（**きらやか銀行・岩手銀行**）もトップテンに入り、地元金融機関は**七十七銀行・仙台銀行**の2行のみだった。

表3(売上規模上位行)

5000万円未満

順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	七十七	5,097	57.15%
2	仙台	1,186	13.30%
3	杜の都信金	634	7.11%
4	仙南信金	221	2.48%
5	宮城第一信金	158	1.77%
6	石巻商工信組	155	1.74%
7	石巻信金	147	1.65%
8	気仙沼信金	138	1.55%
9	北日本	107	1.20%
10	古川信組	95	1.07%
	合計	8,918	

5000万円以上1億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	七十七	2,517	54.15%
2	仙台	632	13.60%
3	杜の都信金	335	7.21%
4	仙南信金	144	3.10%
5	石巻商工信組	113	2.43%
6	石巻信金	108	2.32%
7	宮城第一信金	86	1.85%
8	北日本	67	1.44%
9	気仙沼信金	63	1.36%
10	古川信組	52	1.12%
	合計	4,648	

1億円以上5億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	七十七	4,191	54.73%
2	仙台	1,012	13.22%
3	杜の都信金	482	6.29%
4	仙南信金	185	2.42%
5	石巻商工信組	181	2.36%
6	宮城第一信金	153	2.00%
7	石巻信金	149	1.95%
8	北日本	108	1.41%
9	気仙沼信金	106	1.38%
10	東北	90	1.18%
	合計	7,657	

5億円以上10億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	七十七	817	54.87%
2	仙台	156	10.48%
3	杜の都信金	66	4.43%
4	商工中金	42	2.82%
5	北日本	31	2.08%
6	仙南信金	30	2.01%
	石巻商工信組	30	2.01%
8	三菱東京UFJ	28	1.88%
9	三井住友	27	1.81%
10	宮城第一信金	26	1.75%
	合計	1,489	

10億円以上50億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	七十七	847	61.60%
2	仙台	101	7.35%
3	みずほ	38	2.76%
4	商工中金	35	2.55%
5	三菱東京UFJ	32	2.33%
6	三井住友	31	2.25%
7	杜の都信金	30	2.18%
8	北日本	29	2.11%
9	常陽	28	2.04%
10	岩手	16	1.16%
	東北	16	1.16%
	合計	1,375	

50億円以上

順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	七十七	214	51.44%
2	みずほ	37	8.89%
3	三井住友	25	6.01%
4	三菱東京UFJ	23	5.53%
5	農林中金	12	2.88%
6	仙台	8	1.92%
	商工中金	8	1.92%
8	きらやか	6	1.44%
9	岩手	5	1.20%
	信金中央金庫	5	1.20%
	合計	416	

4. まとめ ～七十七銀行の存在感、地元金融機関の強さ目立つ

七十七銀行が業種別、売上規模別ともに2位以下を大きく引き離して圧倒的な存在感を示した。また、メイン取引企業数上位7行（2P、表1参照）までを地元金融機関が占めており、地元金融機関の強さが証明された結果となった。

ただ、地元金融機関にとっては、将来の人口・預金減少、収益力の低下など多くの課題を抱えており、近年でも全国的に地域連合とも呼べる金融再編が相次いでいる。また、金融機関は、今年10月に公表された新たな金融行政方針にある、「日本型金融排除」への対応が求められている。信用保証・担保依存の見直し、企業の経営改善への支援を重視する「金融仲介機能のベンチマーク」が呼び掛けられ、従来のメインバンク制とは異なる企業と金融機関との関係性が生じる可能性もある。メインバンクに求められる役割は、さらに高度化・多様化することが考えられ、今後もその動向に注視していく必要がある。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 仙台支店 担当:紺野
TEL 022-221-3480 FAX 022-265-5060

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。